

INFORMATION NOW

ダイオキシン類問題シンポジウムを開催

市では、ダイオキシン問題への正しい知識と理解を深めるため、狭山市ダイオキシン類問題検討委員会との共催により国内の専門家を招き、2月7日(土)「ダイオキシン汚染ごみの処理」と題するシンポジウムを市民会館で開催しました。



成蹊大学名誉教授
飯田芳男氏 狹山保健所長
田辺博義氏 摂南大学教授
宮田秀明氏 淀川大学教授
北野大氏 国立公衆衛生院教授
田中勝氏

まず、講演会では宮田教授が「汚染と人体影響」について話し、毒性が多岐にわたることや、厚生省のTDI(耐用一日摂取量)10 pg/kg/日や環境庁の健康リスク評価指針値5 pg/kg/日にについて、「今後の実験データの充実が重要であり評価の値も変わっていく。より小さい方向へ向かうのでは」との見解が示されました。また、ダイオキシンは90%以上を食品から摂取しており、その中でも魚類が60%を占めている現状が報告されました。母乳や土壤による汚染も取り上げられ、「ごみを減らしてダイオキシンを減らすことが大切である」との見解が示されました。

次に、北野教授が「各国の基準の比較」と「生物への影響」について話され、重さの単位、ダイオキシン類とは何かなど、わかりやすく説明が加えられました。また、ダイオキシンは太陽の光を吸収し光分解することや魚類が60%を占めている現状が報告されました。母乳や土壤による汚染も取り上げられ、「ごみを減らしてダイオキシンを減らすことが大切である」との見解が示されました。

続いて、田中教授が「ダイオキシンの塩素源はなにか」「ごみの処理は焼却してよいのか」について話されました。市と西武鉄道(株)では、高齢者や車椅子を使用するかたが利用しやすいよう3月末日を目途に入曾駅東口にスロープの整備を予定しています。(福祉健康部・高齢者福祉課)

市と西武鉄道(株)では、高齢者や車椅子を使用するかたが利用しやすいよう3月末日を目途に入曾駅東口にスロープの整備を予定しています。(企画財政部・企画課)

● 全国で2番目となるバス初乗り運賃100円とバス停留所を新設

西武バス(株)では、試行的に4月1日から市内全域で初乗りから約1km圏内のバス運賃を100円にします。また、狭山郵便局・狭山厚生病院入口・中央図書館・七夕橋・シルバーハウス・セントラルなど公共的機関5か所にバス停留所を新設します。(企画財政部・企画課)

問い合わせ環境管理課へ内線6333

市税等納期一覧表											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
市 市民税	1期	2期	3期	4期							
国 地方税	1期	2期	3期	4期							
自 動 車 税	全期										
國民健康保険税	1期	2期	3期	4期	5期	6期					
國民年金保険料	48分	59分	69分	79分	89分	99分	109分	119分	129分	139分	149分

今月の納税
今月は市税の納期はありません。なお、平成10年度の納税(入)通知書が4月以降に送付されますので、添付されている口座振替依頼書・申込書で口座振替の手続きをされると自動的に納付ができます。問い合わせ收税課へ内線127-128

要では「焼却をしない方向でごみ処理をしなければならないと思うがどうか」など活発な質疑応答が繰り返されました。

最後に、各先生よりダイオキシン問題に対する考え方を簡潔に述べていただきました。

富田教授は「ダイオキシンは氷山の一角。燃焼は一瞬にして多くの物質が出ている。資源の枯渇化を含め抜本的に生活サイクルを変えていくことが重要である」としています。

北野教授は「人への健康影響はまだわからないことが多い。科学的なデータに基づいて判断し、感情的にしたとしてもリサイクルを最大限行なうことが必要であり、日本のごみ処理の最大の問題は埋め立て処分である」との発表などを行なわれました。

シンボシムでは、「母乳検査での数値についての目安は」汚染地域での土壤からの摂取は大丈夫か「汚染源になるものを絶つていくことが必

要では「焼却をしない方向でごみ処理をしなければならないと思うがどうか」など活発な質疑応答が繰り返されました。

最後に、各先生よりダイオキシン問題に対する考え方を簡潔に述べていただきました。

富田教授は「ダイオキシンは氷山の一角。燃焼は一瞬にして多くの物質が出ている。資源の枯渇化を含め抜本的に生活サイクルを変えていくことが重要である」としています。

北野教授は「人への健康影響はまだわからないが多い。科学的なデータに基づいて判断し、感情的にしたとしてもリサイクルを最大限行なうことが必要であり、日本のごみ処理の最大の問題は埋め立て処分である」との発表などを行なわれました。

シンボシムでは、「母乳検査での数値についての目安は」汚染地域での土壤からの摂取は大丈夫か「汚染源になるものを絶つていくことが必